

金沢市で「無線医用テレメーター等のトラブル防止のための基礎講座」を開催

北陸総合通信局長 山田 和晴(やまだ かずはる)は、平成30年12月1日(土)に石川県地場産業振興センター(金沢市)において、医療機関に従事する関係者を対象として、医療現場で電波を安全に利用する上で必要とされる基礎知識の周知を目的としたセミナー及びワークショップを開催し、約50名の参加がありました。

開会にあたり、山田局長から「近年、病院等医療関係施設でも電波利用の増加に伴い、電波混信による医療機器等の誤動作も発生している。北陸総合通信局では平成28年から医療現場において安全に電波を利用していただくために、医療従事者の方々を対象とした電波の基礎知識に関するセミナー、ワークショップを開催しているところであり、今後も引き続き医療機関における安全な電波利用環境の構築に向けて努めていきたい。」と挨拶しました。



総務省北陸総合通信局
局長 山田 和晴



総務省北陸総合通信局
無線通信部長 大石 通明

講演

初めの講演では、総務省北陸総合通信局 無線通信部長 大石 通明(おおishi みちあき)から、電波に関する基礎的な知識と国内での電波利用の現状等について解説すると共に、医療機関における安心・安全な電波利用の推進に向けた総務省の取り組みについて説明しました。

続いて、東京大学医学部附属病院 講師 新 秀直(あたらし ひでなお)氏から、『医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き』を基として医用テレメータ、携帯電話、及び、無線LANを利用する上で必要な基礎知識について、実際のトラブル事例をまじえ課題と対策をわかりやすく解説されました。また、特に有床病院では『電波を管理する体制の整備が必須である』と講演されました。

なお、講演内容について行った参加者アンケート結果では、(1)理解度は、「理解できた」と「ほぼ理解できた」が約87%、(2)総合的な満足度は、「満足」と「やや満足」が約94%であり、参加者のほとんどが有益と感じている回答が得られました。



東京大学医学部附属病院
講師 新 秀直 氏

ワークショップ

講演の終了後に開催したワークショップは、これまでのアンケート等で医療機関関係者の方から実際の障害状況やその対策手順など医療現場に即した現状が知りたいとの意見を反映し、全国に先駆けた取り組みとして、北陸メディカル電波利用連絡会の会員、及び、電波測定機器メーカーの協力を得て、以下のコーナーを設置し実施しました。

- (1) 講師との医療機器の取扱い等についての個別相談、及び、名刺交換
- (2) 最新の心電図テレメータを使用しトラブル状況の実演と解決方法などの説明、質疑応答
- (3) 電波測定機器メーカー担当者の方から電波環境等を測定する機器の展示と説明、質疑応答
- (4) 医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き周知啓発用のe-Learning 教材、及び、動画の紹介

※「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」のダウンロードはこちら
⇒ 電波環境協議会のホームページ <https://www.emcc-info.net/info/info280404.html>

※ e-Learning 教材(基礎編、応用編)
⇒ 電波環境協議会のホームページ <https://www.emcc-info.net/info/info300410.html>



ワークショップ
機器の展示・説明の様子